

一般社団法人宮崎県理学療法士会 第93回理事会議事録

1. 理事会の種類 第93回理事会
2. 召集年月日 2024年1月12日(金)
3. 開催場所 宮崎リハビリテーション学院
4. 開催日時 2024年1月20日(土) 15時00分～16時23分
5. 出席者

役職名	出席【委任】	出席者氏名
理事	9名【5名】	中田、湯地、迫田、常盤、大森、貴嶋、高月、上野、田上 【竜田、柚木、吉良、平島、花田】
監事	2名	門川、吉田
局長	4名	加藤、松澤、垣内、前原
部長	9名	青山、中武、落合、藤岡、石川、丸中、福永、財津、小川
事務局	1名	西

定刻に至り、加藤事務局長より定足数の報告後、定款第36条1項に基づき理事会成立の旨を伝え、中田理事の挨拶の後審議に入る。

【報告事項】

1) 高齢者就労支援事業に関する報告

常盤理事より報告がなされた。腰痛に関するアンケートの回収率は良かったが、参加希望者(運動指導希望者)が少ない状況。また、LINEや動画配信等を用いての運動指導も提案したが、LINEを使用している方も非常に少ない状況で事業運営に難渋している。アンケート調査結果を中心に日本理学療法士協会へ報告する予定。来年度は、1事業所ではなく日本タクシー協会に協力の依頼を行う予定。

2) 九州ブロック臨床実習指導者会議と研修会開催報告について

田上理事より報告がなされた。2024年1月13日にハイブリット形式で開催。参加者数は66名(対面5名、Web61名)。九州各県の代表者との意見交換会も開催。ブラッシュアップ研修会を当士会でも開催する方向で計画する。

その他)

1) 宮崎県理学療法士会50周年式典について

上野理事より報告がなされた。会長・副会長はじめ多くの方にご協力を頂き、無事終了することができた。記念誌に関しては、完成次第報告を行う。

2) 能登半島地震への理学療法士派遣状況について

財津委員長より報告がなされた。宮崎県から1月27日に第一隊を派遣。現地の状態がまだ落ち着いていないこともあり情報も少ないので、今回は経験者で編成している。第二隊編成の際は一般会員に周知を行う予定なので協力をお願いしたい。

3) 臨床実習指導者講習会の世話人意見交換会について

貴嶋理事より報告がなされた。意見交換会では研修会の講義内容作成にあたっての目的や47都道府県のアンケート調査について報告があった。講習会で作成する成果物について、文字に付箋が被っているなどの理由で通らないことがあるとのこと。情報を研修会運営に反映させていく。

4) 九州ブロック士会長会議についての報告

中田会長より報告がなされた。来年度より九州理学療法士サミットと称し、分科会を5つ（事務局長会議、学術担当者会議、災害対策担当者会議、管理者ネットワーク担当者会議、職能関連担当者会議）に分け、同日の同時時間帯に会議をそれぞれ開催。各担当者会議で協議した内容を士会長会議に落とし込み会議を行う。2024年7月6日に開催予定。

5) 九州ブロック理学療法学会大会について

加藤事務局長より報告がなされた。宮崎県の担当が2026年度となっており、開催準備が2年前からなので来年度から準備を行っていきたい。学術局とも協力し、まずは準備委員長の選出から始める必要あり。

【審議事項】

1) 社会局局長人事について

垣内局長より報告がなされた。垣内局長の後任として、現社会局地域包括ケア推進部部長の中城和輝氏（社会医療法人 暁星会 三財病院）を推薦したい。地域包括ケア推進部部長は部員の長田達寛氏（社会福祉法人 慶明会 介護老人保健施設 サンフローラみやざき）で担当理事と協議し承認は得ている。

審議の結果、社会局局長と部長の選任について承認がなされた。

2) 小児福祉機器展の開催について

中武部長より報告がなされた。令和7年度に地域へ向けた小児福祉機器展を開催できることを目指し、次年度をその準備期間として事業計画を作成。開催目的、事業内容、他県での取り組み等を説明。

審議の結果、開催方向で準備を行いつつ、予算に関しては宮崎県の福祉課や関連企業等と協力する方法を検討していくことで継続審議となった。

3) 視察訪問に伴う追加予算の依頼について

中武部長より報告がなされた。小児福祉機器展開催への準備に伴い、先進的な取り組みをしている岐阜県への視察訪問を計画している。次年度開催される小児福祉機器展へ小児部から 3 名での訪問を予定しているが、割引等の関係もあり今年度中に旅費 126,240 円を支払う必要あり。

審議の結果、今年度の追加予算にて来年度視察に必要な旅券等を購入することが承認された。

4) 県士会学術誌「臨床と理学療法」の配布方法について

落合部長より報告がなされた。学術局より学会・学術誌として臨床と理学療法を発刊しているが、印刷製本費や消耗品等の値段が高騰している。また、封入や発送作業にも労力と時間がかかり、2024 年 2 月からは発送に利用していたクロネコ DM 便の値上げや既存の封筒が使用できないなど問題が生じている。士会事務局から各会員宛てに個別メールの配信発信と同様に、データ化した学術誌についてもメールでの送信を検討している。

審議の結果、紙媒体とデータで送付した場合での費用対効果（見積り）を作成し、再度検討することで継続審議となった。

【その他】

1) 役員活動費の一括支給について

加藤事務局長より報告がなされた。継続審議となっていた役員一括支給について詳細を詰めていった結果、一括支給した場合でも手続き上は現状の仮払いと変わらない。まずは、出張復命書や命令書を電子化（一覧化）し、事務局も管理しやすくする必要あり。電子化する場合のデメリットに関しても把握していきながら、まずはこの形で進めていく。

2) 会員異動等について

名簿の確認後、会員異動について承認された。

3) 次回理事会について

2 月 17 日（土）15 時から事務局で理事会を開催予定。詳細については事務局より後日連絡の予定。

議事録署名人として議長及び理事を選出し、16 時 23 分に散会した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人これに署名（記名押印）する。